非核・いしかわ

2020年8月20日　月刊第265号

〒920-0848 金沢市京町28-8　石川民医連労働組合気付
非核の政府を求める石川の会
TEL 076-251-0014　FAX 076-251-3930
http://hikakuishikawa.com/

非核五項目
① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の署名は82か国、批准は44か国（8月15日現在）

1面　『記憶の灯り　希望の宙へ』刊行　神田順一
2面　核兵器禁止条約批准国の特徴　五十嵐正博
　　オンライン世界大会・印象記　新井田義弘
3面　莇さんを偲ぶ―たたかいはわが人生　井上英夫
4面　『記憶の灯り　希望の宙へ』P71～P72
　　いしかわの兵士はどこで、どれだけ戦死したのか
6面　オンライン世界大会特別集会3「ヒバクシャと枯葉剤被害者との連携」　西本多美子
7面　浅井あいさんの墓前にて　近松美喜子
　　従兄清水正明さんが残した絵　升きよみ
　　＜独標＞百点満点　土井和子
8面　いしかわの戦争遺跡めぐり　中西　優
　　絵手紙コーナー　家　正子

戦後七五年　二度と戦争をさせないために

『記憶の灯（あか）り　希望の宙（そら）へ』刊行

「いしかわの戦争と平和」編集委員会　神田順一

石川県平和委員会と戦争をさせない石川の会が共同で「いしかわの戦争と平和」編集委員会を立ち上げ、二年越しで編集を進めてきたガイドブック『記憶の灯り　希望の宙へ　いしかわの戦争と平和』を八月一五日に刊行しました。

戦後七五年、戦争の記憶が薄れる中で、県内での戦争の加害と被害の事実を示す遺構、記念碑、その他の記録集を集大成して、石川の地は戦争の時代とどのように関わってきたのかを検証しました。

私が執筆担当したキーワードは、「引揚者の町」「シベリア抑留」「被爆者」「非核・平和の自治体づくり」です。「被爆者」では、石川県原爆被災者友の会の願いに応えた取り組み、原爆碑「平和の子ら」像の建立、被爆アオギリ二世の植樹、DVD「この空を見上げて～石川・被爆者たちの証言」、CD「平和の子ら～石川発　被爆者の想いを歌いつなごう」の制作等を紹介しました。

「非核・平和の自治体づくり」では、県内全ての自治体が非核・平和都市宣言を採択し、全ての市町が平和首長会議に加盟した経緯と非核の政府を求める石川の会が果たした役割を報告しました。戦後七五年の節目の年に刊行された本書にこの取り組みを収載できたことに特別の感慨があります。

戦跡ガイドブックとして刊行した本書が非核・平和を希求する市民の運動の『道しるべ』となるよう願っています。

◎本書は県内主要書店でも販売しています。詳しくは同封の案内チラシをご覧ください。

花鳥風月

やはり八月は特別な月。核兵器禁止条約の発効にあと六か国になるなかで広島と長崎の式典があった。予想どおりだが安倍首相は日本「橋渡し」論を口先で唱えるのみ。しかも言葉と内容が不一致。そもそも日本は「核兵器のない世界」を実現する立場ではない。逆に国連に提出している日本提案の決議は、核兵器禁止条約を一切無視し、核兵器廃絶を「究極目標」と先送りにする立場だ▼今や国際政治の構図は、廃絶か固執かの対決だ。この両者の立場は真逆で、その間の「橋渡し」など絵空事。先の決議は核兵器禁止条約の先頭に立ってきた国々から厳しい批判を浴びる一方、核保有国からは棄権と反対の意思表示を受け、「橋渡し」と言っても「橋」の両端が落ち、既に国際的には破綻済み▼今求められるのは、世界の多数の国々の政府と草の根の市民社会が力を合わせて、核兵器固執勢力を包囲し、その政策を変更させることにある▼大局で捉えるならば、核兵器固執勢力を追い詰めるプロセスが力強く前進しつつある。「橋渡し」論は欺瞞そのものであり、核兵器保有大国の「お先棒担ぎ」がその実態に他ならず、「唯一の被爆国」の看板が泣こう。（中）

核兵器禁止条約批准国の特徴

共同代表　五十嵐正博

八月九日現在、批准国は四四か国となりました。条約の発効まであと六か国です。

批准国の若干の特徴を見ましょう。地域別には、アジア七、オセアニア八、アフリカ六、ヨーロッパ四、ラテンアメリカ・カリブ一九です。これまでに八つの非核（兵器）地域条約が締結されました。①ラテンアメリカ及びカリブ地域核兵器禁止条約（トラテロルコ条約、一九六八年発効、以下発効年）、②南太平洋非核地帯条約（ラロトンガ条約、一九八六年）、③東南アジア非核兵器地帯条約（バンコク条約、一九九七年）、④アフリカ非核兵器地帯条約（ペリンダバ条約、二〇〇九年）、⑤中央アジア非核兵器地帯条約（セメイ条約、二〇〇九年）です。

このうち、核兵器禁止条約を批准したのは、トラテロルコ（19／33）、ラロトンガ（8／13）、バンコク（1／10）ペリンダバ（6／47）、セメイ（1／5）です（上が禁止条約批准国数、下が地域条約批准国数）。

なお、北米、東西ヨーロッパ、北東アジア、南アジア、中東など北半球には地域条約がありません。

南極圏には南極条約（一九五一年）があり、「核爆発及び放射性廃棄物の処分の禁止」が規定されています。

注目されるのは、四四の批准国中、人口一〇万人以下が七、一〇万～一〇〇万が一〇と、（極）小国家が約三分の1を占めていることです。伝統的に反核感情が強いトラテロルコ、ラロトンガから二七カ国と半数以上を占めました。これらの地域からさらに批准国が増えることが期待されます。

■トピックス■

核兵器禁止条約の発効まであと六か国に迫る

核兵器禁止条約は、二〇一七年九月二〇日からニューヨークの国連本部で署名、批准の受付が始まっており、五〇か国が批准すると九〇日後に発効します。「広島原爆の日」の八月六日にナイジェリア、アイルランド、ニウエが、「長崎原爆の日」の九日、セントクリストファーネービスが批准書を国連に提出して批准国は四四か国となり、条約発効まで残り六か国になりました。

オンライン世界大会・印象記

核兵器固執勢力を追い詰め、放棄させることは可能！

新井田義弘

今年の世界大会は、コロナ禍のもとでオンラインによる初めての開催でした。ですから大会参加はパソコン画面での参加。八月二日、六日、九日の三日間にわたって、多方面の方々の発言を合計七時間半、じっくり聴くことができました。核兵器の廃絶をめざす世界中のたたかいを知る機会になりました。

印象的な発言としてご紹介したいのは、まず、**中満泉国連軍縮問題担当上級代表**の発言です。「国連は創立当初から核兵器の廃絶を果たすべき使命としてきました。それは、①核兵器が比類のない破壊力を持っている②核兵器は気候変動と並び、地球上のすべての生命を脅かす脅威である③核兵器の使用によっておこる人道上の大惨事に適切に対応できる国は存在しないから。七五年間という長い間、私たちは核兵器による絶滅の脅威という暗い影の下で生きてきました。光の中へ踏み出すのに遅すぎるということはありません。」

中野晃一上智大学教授は、「核兵器を所有している国々がコロナ感染拡大でいかに脆弱で国民のことを守ることができない体制かということがわかった…今こそ分断や差別を乗り越え市民の連帯によって国家や政治を動かしていきたい。」

志位和夫日本共産党委員長は「パンデミックで明白になったことは、軍備増強がウイルスとたたかううえで何の意味もないということでした。…いま求められているのは、核兵器廃絶をはじめ大規模な軍縮を行い、コロナ対策に力を集中すること。」と訴えました。

田上富久長崎市長が「平和宣言」で、「日本政府と国会議員に訴えます。核兵器の怖さを体験した国として、一日も早く核兵器禁止条約の署名・批准を実現するとともに、北東アジア非核兵器地帯の構築を検討してください。『戦争をしない』という決意を込めた日本国憲法の平和の理念を永久に堅持してください。」と訴えたのも印象的でした。

核兵器禁止条約が年内にも効力を発揮する状況になり、核兵器固執勢力を追い詰め放棄させることは可能だと確信を持ちました。

（原水爆禁止石川県協議会事務局長）

莇さんを偲ぶ―たたかいはわが人生

共同代表　井上英夫

莇 昭三さん

（7月19日逝去、享年93）

莇さんは、大先輩で、人生の師なのですが、あえて莇さんとおよびします。七月一九日、亡くなられたと「戦医研」（一五年戦争と日本の医学・医療研究会）の横山隆さんから聞きました。残念でなりません。一五日に北陸中日新聞の辻渕智之記者から、莇さんが入院されているので、回復次第七三一部隊関連の取材をしたいと聞き、私もお見舞いに伺わなくてはと思っていたからでした。また、回復したら、一杯やりながら、じっくり話を伺うと約束していたのでした。生前は、公私にわたりお世話いただきましたが、まだまだ教えていただきたかった。

安倍政権は、コロナ禍、国民に自粛を強要し、国の補償・保障責任は拒否し、他方、憲法改悪に固執し、不要不急の最たる軍備を拡大し、ミサイルでの敵基地の先制攻撃さえ口にしています。まさに、「防衛」を口実とした「武力侵略」という戦前を思わせる危機の時代、莇さんを失ったことは痛恨の極みです。

一九八六年、私が金沢大学法学部に赴任するとすぐに、医療・福祉問題研究会結成に声をかけていただきました。石川での実践と研究はもちろん、全日本民医連の会長として医療従事者と患者の「共同の営み」としての医療構築を全国で推進していた時期でした。

非核の政府を求める石川の会は一九八八年に発足しました。莇さんには創設時からリードしていただきました。石川の会は、全自治体の「非核・平和都市宣言」を実現し、今年も「非核・平和の自治体づくり」を進めています。石川の会で毎年実施しているアンケートでは石川県、一八市町で平和事業に取り組んでいると回答がありました。会報「非核・いしかわ」は二六四号、ブックレット五冊、記念誌三冊と発行を重ねています（石川の会ホームページをご覧ください）。

この運動で、大きな推進力になっていただいたわけです。なかでも私たちは自治体訪問に力を入れていますが、右から左すなわち保守から革新まで、莇さんの人脈の広さ、そして莇さんを敬愛している人の多さにしばしば驚されています。

平和運動は、内灘闘争に始まり、折に触れてその経験とくに内灘のお母ちゃんたちの話を聞かせていただきました。七三一部隊・戦争犯罪の追及、とりわけ幹事長を務められた「一五年戦争と日本の医学・医療研究会」の活動は、全国の医学会、医師会等を揺さぶるものでした。とくに、北陸支部では、七三一部隊の敗戦後最初の上陸地金沢での足跡を明らかにしています。

私も、近隣の住宅に飲み込まれ、消失しそうだったハルピン平房の七三一部隊跡、そして運動の結果保存され、造られた七三一部隊罪証陳列館、さらには瀋陽等の档案（公文書）館を訪問し、小学校の校庭で七三一部隊の投棄した毒ガス兵器による被害を受けた少女にも一緒に会いました。

さらに南京大虐殺事件の現場、記念館へも同行しています。これは、中国のハンセン病療養所が南京の近くにあるということで、その調査の一環でもありました。

あの場面、この光景が目に浮かびます。とにかく、精力的で、朝早くから、ホテルにいない。周辺の散策・調査を済ませるという、「せっかち」な莇さん、小柄な体のどこに力があるか不思議なくらいエネルギッシュでした。

南アフリカで、世界最悪で最後の人種差別政策・アパルトヘイトを廃止し、初の黒人大統領となったネルソン・マンデラに「たたかいはわが人生、自由のために命尽きるまでたたかう」という言葉があります。莇さんの一生も、まさに、平和、国民主権、基本的人権を柱とする日本国憲法を体現する、憲法九七条の認める「人権のためのたたかい」でした。

自由のための闘士・莇さんの偉大さは、マンデラさんと同じく、医療の現場、研究会そして平和運動でも貫かれた威張らない謙虚さと思いやり、誰でも同じ人間として接する、すなわち真の民主主義者だったことだと思います。それゆえにこそ、医師、看護師はじめ若い病院職員も、莇さんのたたかいを支えてくれたのでしょう。

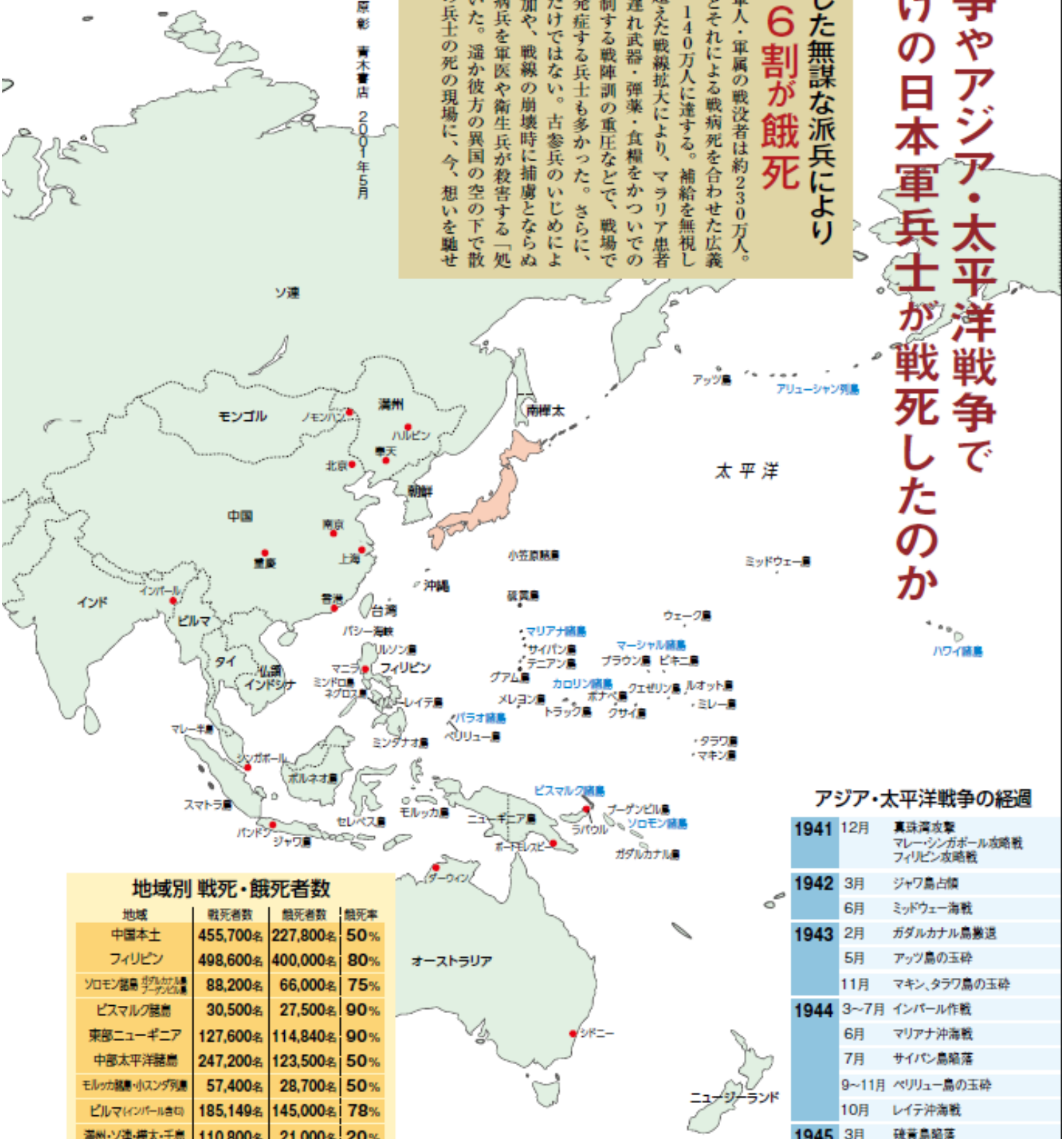
莇さんの遺志を受け継ぎ、憲法と人権保持のための「不断の努力」（憲法一二条）を続けることをお誓いし、あらためてご冥福をお祈りします。

日中戦争やアジア・太平洋戦争でどれだけの日本軍兵士が戦死したのか

補給を無視した無謀な派兵により戦死者の6割が餓死

日中戦争以降の軍人・軍属の戦没者は約230万人。そのうち栄養失調とそれによる戦病死を合わせた広義の餓死者は6割強、140万人に達する。補給を無視した、国力の限界を超えた戦線拡大により、マラリア患者が激増。機械化が遅れ武器・弾薬・食糧をかついでの徒歩行軍、死を強制する戦陣訓の重圧などで、戦場で心を病み拒食症を発症する兵士も多かった。さらに、死因は戦闘と餓死だけではない。古参兵のいじめによる自殺(自決)の増加や、戦線の崩壊時に捕虜とならぬよう、動けない傷病兵を軍医や衛生兵が殺害する「処置」が常態化していた。遥か彼方の異国の空の下で散った、一人ひとりの兵士の死の現場に、今、想いを馳せたいと思う。

◆参考資料
『餓死した英霊たち』藤原彰　青木書店　2001年5月



地域別 戦死・餓死者数

地域	戦死者数	餓死者数	餓死率
中国本土	455,700名	227,800名	50%
フィリピン	498,600名	400,000名	80%
ソロモン諸島 ガダルカナル島 ブーゲンビル島	88,200名	66,000名	75%
ビスマルク諸島	30,500名	27,500名	90%
東部ニューギニア	127,600名	114,840名	90%
中部太平洋諸島	247,200名	123,500名	50%
モルッカ諸島・小スンダ列島	57,400名	28,700名	50%
ビルマ(インパール含む)	185,149名	145,000名	78%
満州・ソ連・樺太・千島	110,800名	21,000名	20%
沖縄・小笠原(硫黄島含む)	105,100名	105,100名	100%
日本本土・朝鮮・台湾 仏領インドシナ・タイ・マレー シンガポール・ボルネオ スマトラ・ジャワ・セレベス	233,500名	116,750名	50%

◆参考資料　「餓死した英霊たち」藤原 彰

アジア・太平洋戦争の経過

1941	12月	真珠湾攻撃 マレー・シンガポール攻略戦 フィリピン攻略戦
1942	3月	ジャワ島占領
	6月	ミッドウェー海戦
1943	2月	ガダルカナル島撤退
	5月	アッツ島の玉砕
	11月	マキン、タラワ島の玉砕
1944	3~7月	インパール作戦
	6月	マリアナ沖海戦
	7月	サイパン島陥落
	9~11月	ペリリュー島の玉砕
	10月	レイテ沖海戦
1945	3月	硫黄島陥落
	3~6月	沖縄戦
	8月	日本がポツダム宣言を受諾 敗戦

戦争の犠牲となったのは、人間だけではない

105 軍馬記念碑

所在地 金沢市小坂町ツ1 野間神社境内

富国強馬・動物兵士としての軍馬

日清戦争時の1894(明治27)年、第九師団の軍馬徴発要請に応じ、旧河北郡小坂村(現金沢市小坂町)の農耕馬630頭が大陸に送られ、「無言の兵士」は軍人と同じように戦争の犠牲となった。1903(明治36)年、小坂村有志は自然石を積み上げ、青銅2m余の軍馬碑を建立した。野村練兵場内には、乗馬用馬と荷物運搬用駄馬約200頭を収容する厩舎が建設された。馬不足を補うため農家に馬産が奨励され、金沢第九師団には、遠く福島県会津地方からも馬が運び込まれた。

1925(大正14)年から日中戦争前の1936(昭和11)年までの間、日本陸軍の平時兵力は17個師団・約23万人、農家から徴発させられた軍馬約5万頭であった。軍馬の用途には乗馬(将校クラス)と輸送用(輜馬・駄馬)があり、部隊はごく一部を除きすべて馬編成であった。1936年度の動員計画では兵隊146万人、馬35万頭で、人員の24%の馬が動員されることになっていた。軍需品としての馬には交代がなく、戦地に送られた馬は死ぬまで使われた。人間の食糧さえ不足している状態で馬糧は最初に犠牲にされ、馬の餓死や斃死は当たり前で、馬を食料として食べてしまう場合もあった。敗戦時、それまでの消耗を含めると100万頭近い馬が犠牲になったと推測される。馬の根こそぎ徴発が農業の生産力を低下させ、さらに戦後日本の農村風景を一変させることとなった。

金沢 P.124
地図No.44 33

◆参考資料
『餓死した英霊たち』藤原 彰 青木書店 2001年5月
『戦争に征った馬たち』森田俊彦 清風堂出版 2011年5月

いしかわの兵士は どこでどれだけ、戦死したのか

日中戦争

1937(昭和12)年7月～1945(昭和20)年8月

満州／中国／蒙古／台湾／南洋／内地 各方面

戦死者 3,573人
(陸軍3,490人・海軍83人)

アジア・太平洋戦争

1941(昭和16)年12月～1945(昭和20)年8月

太平洋諸島

サイパン島	393名	その他比島	1009名
グアム島	144名	ニューギニア東部	895名
ウエーク島	71名	ニューギニア西部	371名
トラック島方面	160名	ニューギニアその他	309名
メレヨン島	19名	ソロモン諸島・ブーゲンビル	313名
パラオ島方面	103名	ソロモン諸島・ガダルカナル	59名
ポナペ島方面	34名	ソロモン諸島・その他	333名
クサイ島方面	112名	ボルネオ島	436名
テニアン島方面	157名	スマトラ島	81名
ブラウン島方面	29名	セレベス島	71名
クエゼリン島	68名	ジャワ島	68名
ルオット島方面	47名	小スンダ列島	56名
ミレ島方面	756名	モルッカ島	81名
ペリリュー島	121名	ハワイ島方面	4名
ビスマルク諸島	215名	マレー方面	158名
その他 南洋群島	848名	タイ方面	77名
ルソン島	3076名	ビルマ方面	799名
レイテ島	582名	インド	113名
ネグロス島	102名	仏印	249名
ミンドロ島	16名	太平洋上	952名
ミンダナオ島	352名	バシー海峡	195名
セブ島	127名	バリンタン海峡	31名

戦死者 14,192人

アジア大陸周辺

満州	1530名	台湾	368名
中国	1577名	硫黄島	292名
ソ連	565名	小笠原	104名
蒙古	21名	東シナ海	338名
朝鮮	199名	黄海	126名
樺太	20名	南シナ海	278名
千島	94名	日本海	71名
アリューシャン列島	39名	内地	2327名
南西諸島・沖縄	901名		

戦死者 8,850人

いしかわの兵士は 日中戦争とアジア・太平洋戦争で 戦死者 26,615人

◆参考資料 『石川県将士の記録』厚生部民生課 1973年3月(非売品)

非核・平和のひろば

オンライン世界大会・特別集会(3)
「ヒバクシャ・枯葉剤被害者との連帯」にて発言

石川県原爆被災者友の会会長
西本多美子さん

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、原水爆禁止二〇二〇年世界大会はオンラインで開催されました。そのうち、八月三日、特別集会(3)「ヒバクシャ・枯葉剤被害者との連帯」では、石川県原爆被災者友の会会長の西本多美子さんが、日本の被爆者として発言をされました。西本さんは、昨年一一月に、原水爆禁止日本協議会が「被爆者と枯葉剤被害者の交流と協力支援のベトナム派遣団」を送るときに被団協代表として参加し、枯葉剤の被害を受けた方々と交流されました。

昨年一一月、ベトナムを訪問し、枯葉剤被害者と交流した西本さん（後列右）

西本さんのお話では、交流した三〇代のロイさんは、両足の膝から下がなく、片腕の肘から先がない。同じく三〇代のホアンさんも両足の膝から下がないという奇形で生まれたという話を聞き、西本さんは大きくショックを受けた、とお話しされました。また、結合双生児として生まれ、切り離し手術が話題にもなったドクさんとも対面されたそうです。

ベトナム戦争後、奇形児が生まれるケースは六百万にも及ぶとされながら、現状は把握しきれないもの。そして、何代にもわたって苦しめられており、これは日本への原爆投下による放射能の影響から白血病やガンなど今なお続く苦しみと通ずるものがあります。

アメリカがいまだ、日本の被爆者にもベトナムの枯葉剤被害者にも謝罪も補償もしていないことを強く訴え、「人類の生き残りをかけて、核兵器、大量破壊兵器をなくすため力を合わせましょう。核兵器禁止条約の発効めざして頑張って参りましょう」と力強く締めくくりました。

（まとめ　大田健志）

非核石川の会リレーエッセー

浅井あいさんの墓前にて

近松美喜子

八月三日は金沢市出身のハンセン病元患者で歌人の浅井あいさんの命日。毎年支援者によるお墓参りが行われてきた奥卯辰山公園墓地。近くに住みながらなかなか参加できなかったが、今年は新婦人もみじ班の仲間四人（同じ町内の会員）と墓参しました。

「生きていてよかった」という墓標を読みながら浅井あいさんを偲んだ。一五年ほど前だったか杉浦常男さんが、国の誤ったハンセン病政策のために無念な退学をしていた浅井さんに卒業証書をと奔走されていた。

二〇〇一年にハンセン病国賠訴訟は、熊本地裁で全面勝訴し、たしかその年に金沢大学教育学部付属中学校より、県立女子師範学校附属尋常小学校の卒業証書授与式が行われた。国が誤りを認めても長い苦しい時間をどうやって取り戻せるのか、と怒りがこみ上げたことを今でも覚えている。

大切な家族に迷惑がかかると自ら遠い群馬県の国立療養所に入った一六歳の浅井あいさん、娘を死んだことにせざるを得なかったご両親、姉弟、お墓に刻まれた浅井あいは本名ではない現実。

しかし、歌人としての浅井あいさんの歌は豊かで前向き、気負わない中にも社会の理不尽なことに目を向け批判が込められ心を打たれます。

亡くなるまで「世のため人のために尽くしたい」「なしたいことがある」と歌に詠み行動していた浅井あいさん。八〇部近い新婦人新聞を失明し麻痺がある体で配達・集金。療養所の廊下の辻で迷うと歌に詠まれる気丈さ。その姿が目に浮かぶようです。

熊本判決から二〇年近くたつ今日も様々な形での差別はなくならない社会を浅井さんならなんと歌うのでしょうか。

「偉大なる可愛い先輩に学ぶこと多々墓標の前に」　近松美喜子

今年の浅井あいさんのお墓参りにて

従兄・清水正明さんが残した絵画

升きよみ

昨年の夏、子どもや孫たちと一緒に、輪島市文化会館に展示されている清水正明さんの被爆絵画展を観に行ってきました。

正明さんは私の従兄で、過去二回彼の絵画を観ていますが、子どもや孫たちに被爆のこと、正明さんのことを伝えたい思いを強くしての家族鑑賞でした。

私の父は輪島市に生まれました。

私は正明さんと親子ほど歳が離れていたこともあり、じっくり戦争中のことを聞く機会がありませんでした。父から「あれは戦争中、海軍将校として士官学校で教鞭をとっていた。あの八月一五日は広島から四kmほど離れた所で、原爆投下に会い、口苦に表せないひどい地獄を見たと言っていた。そのこともあって生命を救う医者になることを決意した。医者になるなら、良い医者になれ」と父は正明さんに言っていた様です。

清水正明さんの被爆絵画　「火と水 Ⅱ」

正明さんは、石川県の被爆者運動にも力を注いでいることを知りつつも時を経てしまった。

正明さんの死後、父の一番下の妹の子（従弟）から「きよみちゃん輪島に来て正明さんの展覧会を観て・・・」そして「私の父も戦死をし、母は大変な苦労をして私たち姉弟を育ててくれた・・・、戦争は絶対ダメや」と語ってくれました。あらためて正明さんの思いを受けとめなければならないと痛感する日々でした。

ヒバクシャ国際署名の呼びかけや核兵器廃絶の運動を持続的に進めている被爆者の方々の運動のことは、正明さんの手記を読み返すなかで更なる力となりました。

正明さんは原爆投下による悲惨な光景を目の当たりにしてきたことを「言わなければならない。描き残さなければならない」と語りキャンバスに描き残した。後世に伝えるために、自分の生まれ育った地、そして医師として生活した輪島市へその思いを描いた絵画一三点を寄贈しました。その思いをしっかり受け止めたいこともあっての絵画鑑賞でした。

今年は、被爆七五年になります。過日、他の従姉から「きよみちゃん、正明さんたち被爆者の思いを一番継いできたのは誰やと思う?」と謎めいた質問を受けた。そして彼女の言ったことは「あんたたちや共産党の人たち、そしてそれを応援している人たちや」「特に九条の会の人たちだと思う。粘り強く平和の大切なこと、平和の尊さを伝え『憲法九条は世界の宝』と頑張っているのだから」と言ってくれたことが嬉しく、励まされました。

現役時代、声に出さずにいた彼や彼女たちでしたが、しっかり私たちの運動を見ていてくれたことを思うと、今こそ次世代の子どもたちのために運動の継続をすることの思いを新たにしている今日この頃です。

詩人会議かなざわ「独標」より

百点満点

土井和子

車椅子の暮らしに慣れず
運の悪さを嘆いていたころ
障害者は「ばい菌だ」
と言うコドモと出逢った
どこがばい菌なのか
聞き返す事も出来ず心が疼いた

障害者は不幸しか生まないと
多くの命を奪った殺人鬼に
死刑が言い渡された
しかし　殺人鬼よ　あなたは
簡単に執行されてはいけない
幸せの命と不幸の命
その線引きはどこにある
生物に宿って巧妙に変化する
コロナウイルスのように

偏った思想を殺人という行為に
飛躍させた野蛮な犯罪を猛省し
奪った命と傷つけた人たちに
頭を垂れなければいけない

コドモはオトナになった
見た目の身体は酷く見えても
雪が吹雪く寒空に
真っ赤な花をつける山茶花のように
生きるための燃える心に寄り添えば
誰の心にもあるという差別などは
愚かなことだと気づいた
人は生きているだけで百点満点だから

いしかわの戦争遺跡めぐり⑪

フォトグラファー　中西　優

戦後七五年を迎えました。毎年八月は式典やマスコミの特集を通じて戦争について振り返ることがみなさんも多いのではないでしょうか。

金沢市を一望できる大乗寺丘陵公園には原爆被害の記憶を全国に伝えようと、広島市より寄贈された「被爆アオギリ二世」が植えられています。この樹は二〇一五年四月に植えられたもので、同様のものは日本国内のみならず世界各地に贈られ、平和への思いを世界に広げています。特徴的なエピソードとしては原爆投下を命令したトルーマン大統領が建てたトルーマン図書館の庭にも彼の孫の手で被爆アオギリ二世が植えられたそうです。

丘陵公園は現在、市民の憩いの場として人気スポットになっていますが、訪れた際にはアオギリを見て平和への思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

（写真説明）被爆アオギリ二世が植樹されている大乗寺丘陵公園＝金沢市

写真右は大乗寺丘陵公園から金沢市内を一望したところ、写真左は昨年七月、大きく成長したアオギリの木の下でピクニックしました

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班　家　正子

編集室より

本紙四面～五面に新刊本『記憶の灯り　希望の宙へ』七一頁～七二頁を転載しました。

【キーワード】日中戦争やアジア・太平洋戦争でどれだけの日本軍兵士が戦死したのか

一五年戦争で、いしかわの兵士がどこでどれだけ戦死したのか、莇昭三先生が「石川県将士の記録」（一九七三年三月、石川県厚生部民生課）を詳細に調べて作成した数値を世界地図に表したものです。「汝の立つところを深く掘れ、そこに泉がある」を信条とされていた莇先生の遺稿として本紙に掲載しました。（か）

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	集会・行事内容	会場
8	24	月	18:00	石川憲法会議2020年度総会	金沢市昭和町・平和と労働会館3階
	30	日	13:30	県民教育文化センター—2020年夏の交流研究集会「紙芝居で、今ここにある希望を」野間成之さん、平和の子ら委員会	金沢市富樫・教育プラザ富樫121室（主催者に事前予約を）
9	2	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園横入口
	13	日	13:30	2020年石川のうたごえ交流会	白山市松任学習センター
	16	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園横入口
	23（水）～24（木）			治安維持法国家賠償要求同盟北陸ブロック交流会	石川県津幡町・料理旅館「勝崎館」
	24（木）～30（水）			中村哲医師追悼写真展	金沢市鞍月・石川県庁19階展望ロビー
	26（土）～10/2（金）			国連・核廃絶デー記念企画　「お母さんの被爆ピアノ」上映	金沢市香林坊・シネモンド
	30	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園横入口
10	上旬・掲載予定			被爆75年・核兵器廃絶を求める意見広告（北陸中日新聞掲載）	広告協賛の団体と個人に参加呼びかけ中
	14	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園横入口
	28	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市香林坊・いしかわ四高記念公園横入口